

ひろば

広報紙

No.39

2011年3月15日発行

配布対象 広大全教職員

発行 **広島大学教職員組合**

〒739-0046 東広島市鏡山 1-7-2 (広大西口)
内線 (東広島 84) 5390 TEL/FAX 082-422-7556
メールアドレス union@hiroshima-u.ac.jp

【ニュース】 要求書への大学回答と組合対処方針

【ミニひろば】 その②

「よい声」は「よい耳」作りから

お見舞い

この度の東日本巨大地震でご家族・ご親族やご友人・知人が被害に逢われた方がおられましたら、心よりお見舞い申し上げます。

執行委員長 マハラジャン・ケシャブ・ラル

前回の「ひろば」でお知らせしました組合の「2010年度統一要求(29項目)」に対して、2月14日に大学から46ページに上る回答を受け取りました。2月執行委員会では深夜までそれへの対応を検討しましたが、ボリュウムがあることから、対処方針を確定できたのはその一部に留まっています。今後も継続して検討と交渉を行なって行きますが、今回は附属学校園に関するものの一部をご報告します。

教職員組合は、研究科長や課長等以上の役職に就いている方以外は、広島大学で働く方なら誰でも加入できます。未加入の方は是非、加入していただき、ともに問題の解決や労働条件・環境の改善に取り組みませんか？

(注) 第3～5項目の「大学回答」は抜粋したのになっています。また、「対処方針」は2月25日執行委員会での決定です。(●補足・文責小藪 は除きます)

要求書への大学回答と

組合対処方針

ニュース



1. 附属学校設備について、以下及びその他の必要な改修、改善を行なうことを求めます。

(1) 東雲中学校

① 準備室へのクーラー設置

暑さで業務に支障を来たし、窓を開けると砂埃が入る。

② トイレ小便秘排水設備の改善

タンクでの定期排水方式だが、故障がちで異臭が発生し、学習環境が劣悪。

(2) 翠地区

① 老朽化した附属中学校・高等学校3号館の改修

② 附属小学校のグラウンド整備

(3) 三原地区

① 校舎の鉄枠窓をアルミサッシの窓へ変更

鉄枠なのでさびや曲がりて開閉ができなくなっている窓があり、また、とても重たくて開閉が大変(特に古くなっているものほど)。

附属学校園設備の整備・修繕に必要な経費は、附属学校において整備計画を立案して法人本部へ要求しています。それを受けて法人本部では、大学全体を見通して緊急性、必要性等を考慮し、優先されるものから全学経費予算の範囲内において順次対応しています。



【大学回答】

附属学校園設備の整備・修繕に必要な経費は、附属学校において整備計画を立案して法人本部へ要求しています。それを受けて法人本部では、大学全体を見通して緊急性、必要性等を考慮し、優先されるものから全学経費予算の範囲内において順次対応しています。

ここに要求されている各事項についても、必要な改修、改善に向けて、全学的に対応しているところであり、特に附属小学校のグラウンド改修については、平成22年度の学長裁量経費で予算措置され、現在、改修工事が進んでいます。

【対処方針】

(1) 「附属小学校のグラウンド整備」以外は具体的な回答が無く、当該具体的回答を求める。

(2) 附属学校支部からの意見等を集約する。

2. 附属学校園の再編統合について、改めて現在の状況を説明して下さい。また、構成員の意見・要望の聴取の実施について、その具体的計画または方針の説明を求めます。

今後の再編統合の具体的方針及びあり方について、附属学校園の多くの教職員が不安を抱えています。また、「回答」では「構成員の意見・要望等を聴取する必要がある場合には、その方法について検討の上、実施することとなります」とありましたが、その具体的な計画または方針はどうなっていますでしょうか。

【大学回答】

附属学校園の将来構想については、第1期中期目標・中期計画で示されているとおりであり、その後変わっていませんが、現在、附属学校関係者と学内外の有識者を構成員とした「諮問委員会」を設置し、附属学校園の基本的な今後の在り方について、検討しているところです。

その内容・状況については、必要に応じて校長会議等を通じて構成員にお知らせしていくこととしています。

また、構成員の意見・要望等を聴取する必要がある場合には、その方法について検討の上、実施することとなりますが、現時点では、その具体的な計画はありません。

【対処方針】

(1) 諮問委員会の構成メンバー、開催状況、討議内容の開示を求める。

(2) 附属学校支部からの意見等を集約する。



3. 附属学校における教育実習のあり方について再検討を求めます。また、教育実習全体の仕組み、中四国他大学附属学校での教育実習との比較、新規の実習による効果について説明と情報提供を求めます。

教育実習の種類が増え、期間も長くなり、教員及び生徒の負担が増加しています。そのことよって生徒に提供する教育の質が低下し、また、実習を受ける生徒の質（姿勢、意欲、緊張感等）も下がり、結果、質の高い実習を行なうことが困難になるのではないかと危惧しています。また、教育実習全体の仕組みがどうなっているのか、当該仕組みが他大学と比較してどうなのか、更に、新規の実習によって学生（実習生）にどのような効果が出ているのかといった点も不明です。

年次	小学校教育実習関係科目（セメスター、附属学校での実施日数）	対象学生	中・高等学校教育実習関係科目（セメスター、附属学校での実施日数）	対象学生
1	小学校教育実習入門（1セメ、半日）	(教) 第一類	中・高等学校教育実習入門（1セメ、半日）	(教) 第二～五類
2	小学校教育実習観察（4セメ、1～2日）	(教) 第一類	中・高等学校教育実習観察（4セメ、2日）	(教) 第二～五類
3	教育実習指導A（5セメ、3日）	(教) 第一類	教育実習指導B（5セメ、3日）	(教) 第二～五類
	小学校教育実習I（6セメ、5週間）	(教) 第一類	中・高等学校教育実習I（6セメ、4週間）	(教) 第二～五類
4	小学校教育実習II（8セメ、2週間）	(教) 第二～五類	中・高等学校教育実習II（7セメ、2週間）	(高校教諭免許状取得希望者) (教) 第二～五類及び(他)
			中・高等学校教育実習III（8セメ、2週間）	(教) 第一類

※(教)：教育学部 (他)：他学部

【大学回答（抜粋）】

○教育実習全体の仕組み
大学全体として実施している到達目標型教育プログラム(HIPROSPETS (R))の理念に基づき、…(中略)…附属学校における実習を伴う教育実習関係科目の全体的な構造は、以下のとおりです。(上表)

- ・「教育実習入門」は、教育実習関係科目の導入として位置づけられている科目であり、大学における講義や附属学校における授業観察を通して、学習者から教師への視点の転換、教職への動機づけを主たる目的としている。
- ・「教育実習観察」は、教育実習の観察を通して、児童・生徒理解を促進するとともに、実習に対する自己の課題を明確化することを主たる目的としている。
- ・「教育実習指導A」及び「教育実習指導B」は、教育職員免許法に定められた事前指導である。
- ・「小学校教育実習I」及び「中・高等学校教育実習I及びII」は、本実習である。
- ・「小学校教育実習II」及び「中・高等学校教育実習III」は、それぞれの副免許取得のための実習である。

なお、教育実習全体の目標的構造的整理については、附属学校からの委員も参加した教育実習連絡協議会内に設置されたWGにおいて慎重に検討されたものです。

○他大学の教育実習との比較（事例：岡山大学）

岡山大学における教育実習は、以下の教育実習 …(中略)… 全体的にはほぼ同様の教育実習を実施していると言えます。

○「特色ある教育実習プログラム」の効果

本プログラムの効果については、平成19年度以来毎年検討し、その結果は、『広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要』に報告してきました。(後略)

【対処方針】

(1) 附属学校支部からの意見等を集約する。

●補足：文責小藪

教育実習の仕組み、岡山大学との比較、効果については

述べられているものの、何よりも問題としている「教員及び生徒の負担の増加と、それによる質の高い実習の困難性」に関する言及がありません。



4. 附属学校における人材確保のため、転籍者の採用にあたっては退職金の不利益をカバーする給与待遇を行なうことを要求します。

法人化前には転籍者に係る退職金の計算において経験年数の移行措置がありました。当該措置の無くなった現在では、とりわけ一年以上のベテラン教員の転籍受け入れにおいて大幅な退職金の減額が避けられません。その結果、即戦力があり、研究ができるベテラン教員の採用が困難となっております。

【大学回答（抜粋）】（前略）引き続きいた前職歴の勤間に係る退職手当上の通算措置については、前職歴の対象範囲の問題も含めて、附属学校教員に限らず、大学教員をはじめとする本学職員に広く共通する問題と捉えることもでき、優秀な人材確保の一環としての必要性は理解できるところですが、「財政運営戦略」（平成22年6月22日閣議決定）に基づき運営費交付金削減、総人件費改革による総人件費削減等が求められる社会情勢の中にあつて、現在の本学の財務状況等を踏まえた場合、本学独自に退職手当を予算措置することは困難であると言わざるを得ないと考えています。…（中略）…

なお、人事交流であるか否かにかかわらず、例えば、公立学校等の傑出した優秀な人材を附属学校教員として招へいし、本学教員の給与水準より高給な本給額で待遇する必要がある場合については、有期雇用契約による契約教諭として「特任教員」的に雇用するのであれば、その設計等について検討する余地がありますが、（後略）

【対処方針】

- (1) 県との協定等による対応、及び、「特任教員」制度の適用を追求する。
- (2) 附属学校支部からの意見等を集約する。

●補足：文責小數

民間会社等では転籍による退職金の不利益（主に勤続年数の通算問題）をカバーするため、転籍前の会社等で支払われた退職金は本人ではなく転籍後の会社が受け取り、転籍後の会社等においては勤続年数を通算して本人の退職時に自己の退職金規定で支払うという方法を取っております。要は、「運営費交付金云々」よりも人材確保の政策的問題ではないかと思えます。

【大学回答（抜粋）】

時間外労働については、労働時間の適正な把握・管理（労働日ごとの始業・終業時刻の確認、記録等）がなされていて初めて算定できるものと考えています。

しかしながら、附属学校教員の労働時間管理については、国家公務員時代から、教育が特に教員の自発性、創造性に基づく勤務に期待する面が大きいこと等の理由により、その勤務のすべてにわたって、一般の事務に従事する職員と同様な時間的管理を行うことは、必ずしも適当ではなく、とりわけ超過勤務手当制度はなじまないものとされてきました。…（中略）…

本件の根本的な問題は、賃金だけの問題ではなく、附属学校教員の職場における勤務の在り方（生徒指導、部活動指導の取扱い等を含めた労働時間管理や適切な校内運営体制の整備等）にあり、まずはこちらの問題を解決すべき方策を検討する必要があります。…（中略）…

【対処方針】

- (1) 3月末で期限切れとなる「1年単位の変形労働時間制に関する労使協定書」について、組合案（「就労実態の調査」条文を設ける）での交渉を行なう。
- (2) 附属学校支部からの意見等を集約する。
- (3) 上記(1)の協定書の「5月以降の月の労働日と労働日ごとの労働時間に関する書面」の提供を求める（抽出で可）。

●補足：文責小數

現在は労働基準法適用下に在ることが考慮されておらず、使用者には労働時間を適正に把握、管理する責務があることが自覚されていないと言わざるを得ません。組合が指摘しているのは「教職調整額制度に代えて時間外労働に対する割増賃金制度を導入することではなく、教職調整額に含まれる時間を超える時間外労働部分には労働基準法上、支払義務が存在する」との点です。

5. 附属学校・幼稚園における時短実施及び1年単位の変形労働時間制の下での勤務実態と実労働時間の把握を行ない、報告することを求めます。また、教職調整額に含まれる時間を超える時間外労働に対し、割増賃金を支払うことを要求します。

問題は、多数の変形労働時間制適用者において所定（労使協定により定められた）労働時間を超える過重な労働実態が存在していることです。労働基準局名による通達（基発）でも所定労働時間を超える部分は時間外労働である旨が明示されており、したがって、教職調整額を超える部分に対しては賃金の支払い義務があります。



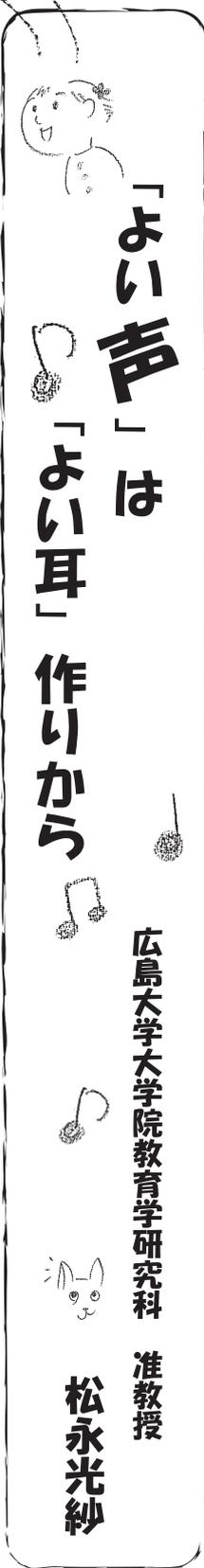
今回は、「声」をだす前の「いいチェック」でしたが、今回はその「声」を出したとして、その「声質」が、その人の音の「聞きかた」に左右されるとしたらうというお話をしましょう。

さて、その前に、「きく」という漢字には「聞く」と「聴く」と二つありますが、どんな違いがあるかご存知ですか？

英語で「私の言うことを聴いて」という場合、「listen to me」といいますが、「ただ聞いている」のが「hear」で耳が選択して「聴いている」のが「listen」なのです。

私たちは、音の洪水の中で暮らしているといつて

その②



「よい声」は

「よい耳」作りから

広島大学大学院教育学研究科 准教授

松永光紗

も過言ではありません。しかし、その生活空間の中においても耳が壊れないのは、耳の機能の中に選択する能力があるからです。つまり、聞きたくないことは「聴かない」のです。よくも悪くも、聞きたくないお母さんのがみがみを「聞かない」ことで、子どもなりのセーフティーガードをしているのです。

これは、日常のことですが、これが国際社会と叫ばれて久しい現在でも英語がなかなか習得できないことと結びついていたとしたら、いかがでしょう？ **やはり聞き捨てならないでしょう？**

ここでもすみなさんに知っていただきたいのは、「耳」というのが、母体でいちばん最初にできる器官(なんと受精後4ヶ月で、ほぼ完成しています)。

ですから、胎教が大事だと言われるのです)であり、24時間作動しているということ。その上、いちばん最後まで機能している器官だということです。

健康者にとつて、「聞こえる」ということが、あまりに当たり前すぎて、「耳」に思いを馳せるなんて思ってもいないことなのですが、前回の「息」と同じように、**あなたはどんな「聞こえかた」「聞きかた」をしているかを考えたことがあるでしょうか？**

ここで、日本語の特性についてお話ししたいと思います。トマティス博士によれば、各言語はそれぞれ固有の主要周波数帯をとります(博士はこれをパスバンドと命名しました)。それらの言語の中にあつて、日本語言語というのは、非常に低いパスバンド

をとります。[図]たとえば英語でもイギリス英語と日本語と比べる場合、イギリス英語は日本語の周波数帯が終わった1500ヘルツよりまだ高い2000ヘルツから始まっています。このように、まったく重なっている周波数帯がありません。

母親が日本人ならば、耳が形成される4ヶ月から、この響きの低い周波数帯である日本語を聞いています。ですから、高い周波数帯をとるイギリス英語には、耳がまったく重なっておらず、聴こうとしても聞き取れない状態がおこります。

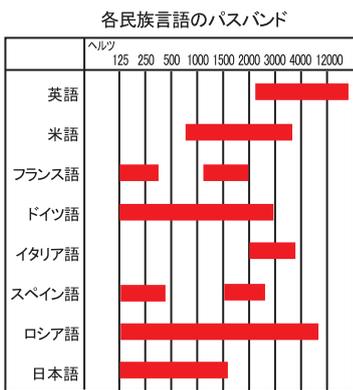
機能的には、私たちと外国人の耳はまったく同じですが、聞いている周波数帯が違うので、性能的に耳の聞き取るものが違ってきてしまつていっています。

トマティス博士が打ち出した説に「聞き取るもののみ再生できる」というトマティス理論がありますが、今、ちまたで売り出されている英語学習機器はまさしくこの理論のつとり、高い周波数帯の音を入れることにより耳の聞き取り能力を上げることがをねらっています。インブットである聞き取る耳の能力が上がれば、当然アウトブットである音声もよくなる。つまり、何年英語学習しても話せなかったのが、耳を訓練し、聴き取れることにより話せるようになるわけです。

前置きが長くなりましたが、これは歌の場合にも当てはまり、シンギングフォルマントと言って、いわゆる声楽的によい声は3000ヘルツあたりの周波数帯が優位であるとのデータがでていますから、やはり周りの音環

境を音質のよいものにしていくことが「よい耳」作りの、**「よい声」作りの二歩目となるでしょう。**

【図】



英語のパスバンドは2000ヘルツ以上で、これに対しスペイン語、フランス語、日本語はそれ以下の音域に属している。
(「最強の英語学習法」村瀬邦子著 日本実業出版社より)

静岡県の子育てと教育総合情報誌「ファミリス」2004・1月号に加筆

だれでも 気軽に いろいろ 楽しく
参加無料/時間 18:30 ~ 19:30

2010年度 union 教養講座

- vol.4 1/21 (金)
- vol.5 2/18 (金)
- vol.6 3/18 (金)
- vol.7 4/22 (金)

国際政治とヒロシマの平和
社会科学部研究科支部 吉田 修
東広島キャンパス 法経155号室

広島海の幸を知る
生物生産学部支部 海野 徹也
東広島キャンパス 法経155号室
(予定)